2026年7･8月号

― 上越市創造行政研究所 広報誌 ―

J･PRU News

上越市創造行政研究所（上創研）は、平成１２年に設置された上越市役所の組織内シンクタンクです。当市のまちづくりを支援する調査研究機関として、人口データなどの分析や情報提供、フォーラムやワークショップの開催、調査研究による政策提言などを行っています。

No.13

Topic 01

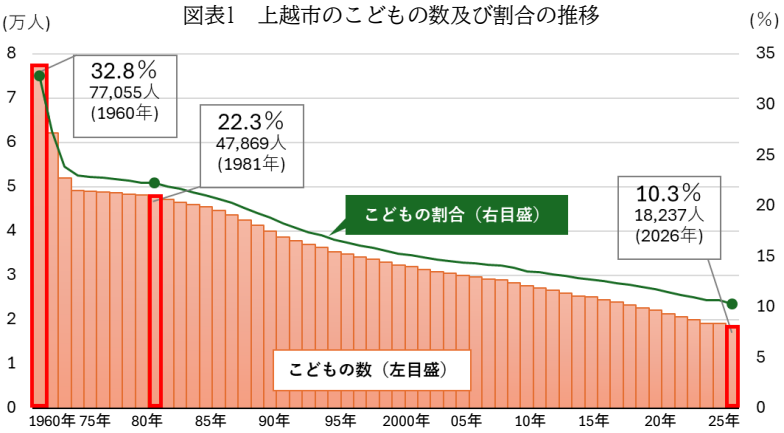
こどもの日から考える　上越市のこどもたちの今

こどもの日は、こどもの健やかな成長を願う日です。その主役であるこどもたちは、今、上越市にどれくらいいるのでしょうか。最新の人口推計から見えてくる現状を紹介します。

こども人口は過去最低を更新

2026年4月1日現在、上越市の15歳未満のこどもの数は18,237人で、市人口の10.3％を占めています。出生数の増加によって僅かに上昇した1981年以降、こどもの数、割合ともに44年連続で減少し、過去最低となりました。（図表1）

図表1　上越市のこどもの数及び割合の推移



出所：「国勢調査」及び「人口推計」を基に上越市創造行政研究所作成

市民の10人にひとりが“こども”

年齢別にみると、未就学児（0～5歳）が5,759人、小学生世代（6～11歳）が7,902人、中学生世代（12～14歳）が4,576人となっています。年齢が低いほど人口が少ない傾向がみられ、今後もこどもの数の減少が続くことがうかがえます。現在のこどもの割合は10.3％で、市民のおよそ10人に1人がこどもという人口構成になっています。（図表2）

図表2　男女、年齢3歳階級別こどもの数（外国人含む）（2026年4月1日現在）

		こどもの数	未就学の乳幼児(0～5歳)			小学生(6～11歳)			中学生
				0～2歳	3～5歳		6～8歳	9～11歳	12～14歳
人口（人）	男女計	18,237	5,759	2,667	3,092	7,902	3,722	4,180	4,576
	男	9,373	2,942	1,370	1,572	4,037	1,853	2,184	2,394
	女	8,864	2,817	1,297	1,520	3,865	1,869	1,996	2,182
総人口に占める割合(%)		10.3	3.3	1.5	1.7	4.5	2.1	2.4	2.6

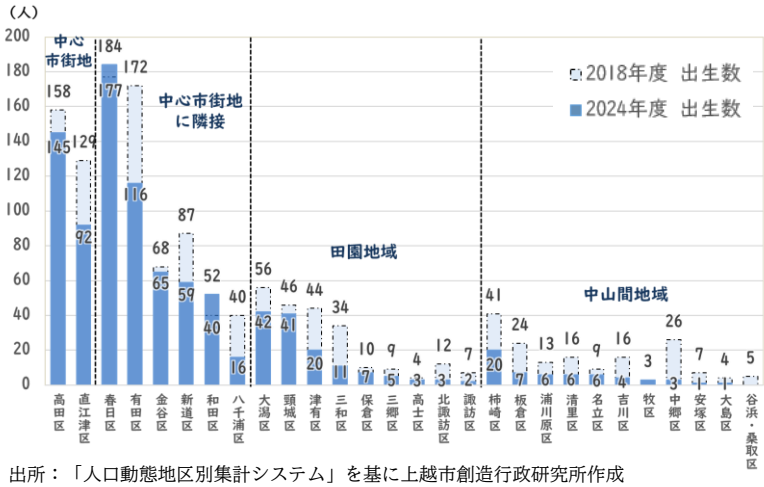
出所：住民基本台帳人口を基に上越市創造行政研究所作成

地域データが映す少子化の現在

地域自治区別に出生数をみると、春日区と和田区を除くほぼ全ての地域自治区で減少しています。特に中山間地域では出生数が1桁にとどまる地区も多く、谷浜・桑取区では2024年度の出生数が0人となりました。少子化は市全体の課題である一方、地域によってその影響の現れ方に違いが見られます。（図表3）

今回は今年の「こどもの日」に合わせて作成したレポートを再編集しました。こどもは地域の未来を支える大切な存在です。皆さんも一緒に子育てしやすいまちづくりや次世代の定住促進について考えてみませんか。

図表3　2018年度と2024年度の地域自治区別出生数の比較



出所：「人口動態地区別集計システム」を基に上越市創造行政研究所作成

（裏面に続く）

Topic 02

【谷浜･桑取区】地区まち住民ワークショップ、始まっています！

谷浜･桑取区地域協議会では、4月の「地区別まちづくり」の取組のスタートとなる藤山所長の講演会を機に、5月から定住促進を考える住民ワークショップに取組んでいます。年代･属性別によるチームを編成し、「地域の現状を整理する」「将来の姿を考える」「実現に向けたアイデアを出す」といった流れで話合いを進めています。各チームでは、地域の課題や魅力、自身の暮らしの実感などを持寄りながら、和気あいあいとした雰囲気の中で活発な意見交換が行われています。9月にこれまでの議論を踏まえた成果発表を行う予定です。

ベテラン男性チーム

ヤング男性チーム

女性チーム

移住・関係人口チーム

Topic 03

【牧区】 二地域居住セミナーを開催しました！

6月19日（金）、牧コミュニティプラザで、国土交通省 国土政策局地方政策課の酒井達朗 二地域居住政策推進官を講師に迎え、「二地域居住」をテーマとしたセミナーを開催しました。

二地域居住とは、普段の住まいとは別に、定期的に滞在するもう一つの生活拠点を持つ暮らし方です。都市と地方を行き来しながら、テレワークや副業、地域活動への参加、子育てや趣味を楽しむなど、多様なライフスタイルが想定されています。

講演では、人口減少が進む中、「人を奪い合う」のではなく、「一人の人材が複数の地域で関わる」ことの重要性が紹介されました。二地域居住は、地域の担い手確保や消費拡大につながるだけでなく、居住者にとっても豊かな暮らしやウェルビーイングの向上、災害時のリスク分散といったメリットがあるとされています。

牧区においても、豊かな自然や地域コミュニティといった資源を生かしながら、関係人口の創出や地域の担い手確保につながる取組の可能性について理解を深める機会となりました。

Topic 04

牧区の未来をレゴ®ブロックで見える化！中学校で事前講演

牧中学校で開催するレゴ®ブロックを使ったワークショップに向けた事前講演を行いました。地域の人口減少といった課題を見つめ直しつつ、豊かな自然や人と人とのつながりなど「牧区らしさ」を活かした未来像について、中学生へ考えるヒントを提示しました。

夏休み明けに行うワークショップ本番では、生徒たちの自由な発想がブロックを通じて見える化されます。子どもたちの手によってどんな素晴らしい未来が創り上げられるか、今から楽しみにしています。

注）レゴ®は、レゴ・グループ社の商標です。本事業は、レゴ・グループの協賛・承認を受けたものではありません。

発行　上越市創造行政研究所
新潟県上越市新光町1-8-11 上越保健センター2階
Tel: 025-526-3490　E-mail: souzou@city.joetsu.lg.jp
https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/souzou-gyosei/